



はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

三角帆

＜合言葉＞つなごう～みんなの手と手、心と心～

平成25年度
別海町立野付小学校
学校だより No.5
平成25年7月25日
発行責任者
校長 音川 忠志

夏休みで育てたい自立心



4月8日(月)の入学式から始まった74日間の1学期でした。6月の運動会では天候にも恵まれ、そして、よく集中した子ども達の姿を見ることができました。また、「野付半島ツアー」では、普段長距離を歩く機会は少ない子ども達ですが、大自然の中で、手に持った野鳥・野花の探索カードを使いながら最後まで歩き通すことができました。子ども達が、1学期の学習・行事を経験しながら確実に成長してきたのを感じています。

そして、保護者のみな様のご理解・ご協力に感謝いたします。

明日から24日間の夏休みです。この夏休みで子ども達に育ててほしいのは「自立心」です。学校生活の中では、先生の指示を聞いて行動することが多いのですが、誰かに言われて何かを始めるのではなく、自分で考えコントロールしながら行動できる心を育ててほしいです。

自立心を育てるために親ができること

①たくさんかわいがる～「自分は愛されている。こんなに愛されている自分にできないことはない」と子どもに思わせることです。根拠のない自信を育てることが大切です。根拠のある自信というのは「前にできたから、きっと今回もできるはずだ」という前例のあるものです。根拠のある自信だけだと、前例のないものに対しては弱くなり、果敢に挑戦できなくなってしまうのです。

②子どもの意欲を摘まない～本来子どもには「やってみよう」という意欲がたくさんあるものです。子どもが興味を示したことは、子どもの脳がその事に指令を出している状態です。やる前から「そんなことやめた方がいいよ」と止めることはよくありません。失敗するとわかっているも見守る姿勢が大切です。そして、トライしたことに対しては存分に褒めてあげましょう。「だから言ったでしょう」は、NG言葉です。

③多少危険なものにも触れさせる～便利なものと危険なものとは表裏の関係にあります。利便性と危険性のバランスのとおり方を小さい頃から学ぶことも大切です。自立をする上で、危険察知能力は大切です。

子どもにとって何よりも強い支えになるのが、家族からの「どんな時もあなたの味方だよ」という言葉であり態度です。そして、それを子ども達に分かるように示してあげられるといいですね。

夏休みの学習・生活を通して少しでも「自立心」が育つよう子ども達を見守ってあげてください。

夏休み明け、一回り大きく成長した子ども達の姿と会えることを楽しみにしています。

校長 音川 忠志



＜夏休み＞

＜2学期始業式＞

～事故なく、けがなく、楽しい思い出を～

7月26日(金)から

8月19日(月)

